

今年一年の幸運と繁栄を招く縁起酒！ ～ 立春の朝に搾りあげた、究極のしぼりたて～ 東京の地酒 【多満自慢“立春朝搾り”】発売のご案内

今年で創業155年を迎える石川酒造株式会社(本社：東京都福生市 代表取締役社長：石川彌八郎)は、日本名門酒会(主宰:榎岡永 (東京都中央区))が主催する“立春朝搾り”へ参加。2018年2月4日(日)、取扱い加盟店で発売いたします。

“立春朝搾り”とは、二十四節気のひとつ2月4日「立春」の未明に搾りあげた生原酒を「地元の神社でお祓いしていただく」、造る人・届ける人・飲む人…“立春朝搾り”に関わる全ての人の無病息災、家内安全、商売繁盛を祈願し今年一年の幸運と繁栄を招く「縁起酒」です。さらに、その日のうちに飲んでいただくため、酒販店がラベル貼り等の作業を手伝って持ち帰り、お客様にお届けするという、お祭りのイベントです。前日の節分の豆まき、恵方巻に続く季節行事として、日本酒の一大イベントとなっています。

●2018年【立春朝搾り】概要

■日本名門酒会では、平成10年より「2月4日 立春の日」に『立春朝搾り』というイベントを開催しており、平成30年に21年目を迎えます。

■2月4日、立春の未明に搾ったばかりの新酒を、その日のうちにお客様に飲んでいただき、美味しいお酒で春の始まりを共に祝おうという趣旨です。

■出荷前には蔵元近くの神社でお祓いを受け、お酒を飲む人と参加者全員の一年間の無病息災、家内安全、商売繁盛を祈願した縁起酒です。

■蔵元では、もろみを一晩中搾り続け、搾り上がったらずぐに瓶詰めして出荷しなければならないため、この日、蔵人たちは夜中から、ときには徹夜で作業を行います。

■当日早朝から近隣の酒販店が蔵元に集まり、ラベル貼りや箱詰め作業を手伝ってお酒を持ち帰り、その日のうちにお客様のもとへお届けします。

■朝搾ったばかりで、いっさいの火入れをしない生原酒をその日に飲むのですから、このうえなく新鮮。春を迎えるに相応しい、フルーティーで香り高く、フレッシュで爽やかな味わいです。

■お客様からは「縁起がいいので家族みんなで楽しみたい」「贈り物にしても喜ばれる」と、毎年、大変楽しみにしていただいています。

■平成29年の出荷は参加蔵元40蔵で301,969本(720ml)。一日だけの出荷数としては異例の数字です。平成30年度は参加43蔵で31万本を予定。



■ 多満自慢“立春朝搾り”当日スケジュール ■

時間 (AM)	項目	内容
6:30	加盟店様集合・開会式	蔵元からの挨拶・杜氏から酒質の説明
6:45	作業開始	加盟店様と一本ずつ一緒にラベル貼り
7:00	交代で朝食	蔵元が用意するお食事を提供
8:15	地元神社によるお祓い	無病息災、家内安全、商売繁盛を祈願
8:25	写真撮影	加盟店様と蔵元の全体写真を撮影
8:30	商品の積み込み	加盟店様の車に商品を積み込み

■□■ 本件に関する報道関係者様からのお問合せ ■□■

東京の地酒 【多満自慢“立春朝搾り”】発売のご案内

石川酒造株式会社 担当：小池

TEL：042-553-0100 FAX：042-553-2017 MAIL：t-koike@tamajiman.co.jp



【石川酒造について】

江戸のころより約400年の歴史をもつ石川家が清酒の製造をはじめたのは文久3年（1863年）に第13代目の石川彌八郎（和吉）が創業し現在に至る。清酒【多満自慢】は、“多摩の心をうたいつつ、多摩の自慢となるよう、多くの人たちの心を満たすことができたなら”という願いをこめて命名された銘柄。

1998年には当代の18代目石川彌八郎がビール醸造を開始、“多摩の恵” TOKYOBLUES”と地酒だけではなく東京のクラフトビールも手掛けている蔵元。

敷地内には直営のレストランがあり出来立てのクラフトビールや地酒が味わうことができる。蔵見学も毎日開催（要予約・無料）しており、年間10万人が酒蔵を訪れる“酒飲みのテーマパーク”としても楽しめる東京福生市の蔵元。

アクセス：J R 青梅線・西武拝島線 拝島駅より徒歩約20分

蔵見学（要予約・無料）：申込先 TEL：042-553-0100（土日祝日を除く10時～17時受付）



【日本名門酒会について】

日本名門酒会は、昭和50年（1975年）創設。

各地で日本酒本来のあるべき姿を守り続けている心ある蔵元と、そうして造られた本物の日本酒をお客様に提供したいと切望する酒販店の全国ネットワークで、創設以来43年にわたり様々な企画提案と商品開発により、伝統の日本酒文化を支えています。

現在、協力蔵元は全国約120社、加盟酒販店は約1700店となっており、より良い日本酒を求めるお客様のニーズにお応えできるよう常に酒質の向上を図る努力を続けるとともに、信頼される流通システムを構築しています。

また、国内のみならず海外にも普及活動を広げ、世界各国で日本酒が「SAKE」の名で親しまれるよう貢献している。

■□■ 本件に関する報道関係者様からのお問合せ ■□■

東京の地酒 【多満自慢“立春朝搾り”】 発売のご案内

石川酒造株式会社 担当：小池

TEL：042-553-0100 FAX：042-553-2017 MAIL：t-koike@tamajiman.co.jp